2024年10月9日

各　位

会 社 名　　株式会社ケイファーマ
代表者名　　代表取締役社長　福島　弘明
（コード：4896、東証グロース）
問合せ先　　常務取締役CFO　松本　真佐人
（TEL. 03－6629－3380）

Society for Neuroscience（SfN）2024における FTD（前頭側頭型認知症）およびHD（ハンチントン病）に対するiPS創薬（※１）の研究成果発表のお知らせ

この度、当社で推進しておりますiPS創薬事業における開発パイプラインである、FTD（開発コード：KP2021）およびHD（開発コード：KP2032）に関する研究成果について、 Society for Neuroscience（SfN）2024（開催地：米国イリノイ州シカゴ、開催期間：2024年10月５日（土）～2024年10月９日（水））において以下の通り発表を行いましたので、お知らせいたします。

「FTDに関する発表の概要」
発　表　日　時：2024年10月６日（日）
発　表　形　式：ポスター
発表タイトル：In vitro disease modeling of Frontotemporal lobar degeneration using patient-derived iPSCs identified potential therapeutic agent and mechanism
発　表　内　容：FTD患者様由来のiPS細胞から、前頭葉型大脳皮質ニューロンへの効率的な分化誘導に成功し、既存の低分子化合物のライブラリーから、臨床有効濃度域において神経細胞死とリソソームの拡大抑制を示し、FTDの治療薬候補となる化合物を同定した。

「HDに関する発表の概要」
発　表　日　時：2024年10月８日（火）
発　表　形　式：ポスター
発表タイトル：Modeling Huntington’s disease in iPSC-derived medium spiny neurons identified a potential therapeutic agent in vitro
発　表　内　容：HD患者様由来のiPS細胞から、中型有棘ニューロンへの効率的な分化誘導に成功し、既存の低分子化合物のライブラリーから、臨床有効濃度域において神経細胞死とHuntingtin凝集体抑制を示し、HDの治療薬候補となる化合物を同定した。

FTD（KP2021）およびHD（KP2032）は、未だ有効な治療薬のない神経疾患であり、当社と致しましては、国内外での企業治験に向け、引き続き研究を推進してまいります。

以上

※１iPS創薬
病気の患者様由来のiPS細胞から分化誘導（iPS細胞から様々な異なる細胞への分化を引き起こすこと）し、疾患特有の状態を再現した細胞を用いて、化合物ライブラリー（特定の指標やターゲットとする疾患領域に基づいてデザインされた化合物の集まり）の中から、薬剤の候補となる可能性のある化合物をスクリーニングする創薬手法。